

# WHY に重点を置いたプロセストレーニングの改善

片山 泰司

オムロン ソーシアルソリューションズ株式会社

[yasuji.katayama@omron.com](mailto:yasuji.katayama@omron.com)

## 要旨

品質をより良くするには、品質を良くしたいと考えて、実際に行動までする人財を増やす必要がある。プロセスとは何か、何のために必要なのか、を現場に納得してもらい、プロセス定着による品質確保につなげることを狙って活動に取り組んだ。WHY(なぜそれをやるのか)に重点を置いた、プロセストレーニングの改善を実施し、プロセスの目的や意義を伝えることで、プロセスに対する現場の納得感や関心を高めた。本発表ではプロセストレーニングの改善事例について紹介する。

プロジェクト管理領域にも展開した。従来のトレーニングでは手薄だった、プロセスとは何か、何のために必要なのか、の目的や意義の話を充実させたり、広く知られた言葉の意味を問いかけたり、プロセスの何が嬉しいのかの話、やりがいを感じてもらうための話、の説明を強化した。トレーニングアンケート結果はベテランから「再認識」、若手から「有意義」のコメントが多く得られた。新人からベテランまで、従来トレーニングよりも、現場の納得感や関心、プロセス遵守、凡事徹底、の意識につなげることができたと考えている。

## 参考文献

### 1. 背景

本発表の対象となる活動に取り組んだ主体は、鉄道事業の組み込みソフト設計部門である。改善したいことは「プロセスの必要性を理解・納得していない」→「プロセス不遵守増加」→「ソフト不具合増加」のサイクル。この負のサイクルの歯止めのために、まずはプロセスに対する現場の納得感を高めることに取り組んだ。

### 2. 活動内容

取り組みは何事も、現場が理解・納得しないと、長続きしないと考えている。プロジェクトを進めるために必要な「当たり前のこと」=「プロセス」の定着につなげるため、WHYに重点を置いたプロセストレーニングの改善を実施した。新人からベテランまで、プロセスの目的・必要性に納得してもらえるよう、トレーニングの工夫に取り組んだ。トレーニングの対象プロセスは、エンジニアリング領域とプロジェクト管理領域。まずエンジニアリング領域のトレーニング改善を実施し、現場の納得につながったため、プロ

- [1] WHY に重点を置いた人材育成 SPI Japan 2017  
[http://www.jaspic.org/event/2017/SPIJapan/session2B/2B1\\_ID001.pdf](http://www.jaspic.org/event/2017/SPIJapan/session2B/2B1_ID001.pdf)
- [2] OMRON BASICS オムロン株式会社 グローバル人財総務本部 2017
- [3] 芝本秀徳の『プロジェクトマネジメントの守破離』プロセスって何それ？ 食べれるの？ 2012  
<http://blogs.itmedia.co.jp/hideshibamoto/2012/07/post-8b1d.html>
- [4] PHP 文庫『子どもが育つ魔法の言葉』ドロシー・ロー・ノルト著 レイチャル・ハリス著 石井千春訳 1999